

群馬県鉱工業指数 令和8年3月分

1. 公表内容

3月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、化学工業、業務用機械工業などが上昇したことから、3か月ぶりのプラスとなった。

○概況

生産は上昇、出荷、在庫は低下で推移

◆3月の主な数値の動向（調査産業計）

（令和2年=100）

	季節調整済指数			原指数		
	総合指数	前月比(%)		総合指数	前年同月比(%)	
生産	101.4	2.5	3か月ぶり+	116.9	▲6.6	3か月連続-
出荷	106.7	▲4.6	4か月ぶり-	110.7	2.8	2か月ぶり+
在庫	164.2	▲2.7	3か月連続-	174.5	14.6	12か月連続+
在庫率	164.8	▲2.1		167.3	28.8	

○生産指数は、季節調整済指数で、3か月ぶりのプラス、原指数で、3か月連続のマイナスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、4か月ぶりのマイナス、原指数で、2か月ぶりのプラスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、3か月連続のマイナス、原指数で、12か月連続のプラスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

（）内は前月比

<生産>上昇:化学工業 (52.9%)、業務用機械工業 (148.1%)
<出荷>低下:輸送機械工業 (▲15.2%)、食料品工業 (▲7.5%)
<在庫>低下:化学工業 (▲5.4%)、生産用機械工業 (▲11.1%)

○前月比が最も大きかった業種

<生産>上昇:業務用機械工業 (148.1%) / 低下:情報通信機械工業 (▲40.3%)
<出荷>上昇:業務用機械工業 (87.1%) / 低下:輸送機械工業 (▲15.2%)
<在庫>上昇:業務用機械工業 (19.6%) / 低下:情報通信機械工業 (▲56.1%)

2. 事業の概要

【目的】

県内の鉱業、製造業等の事業所における生産量、出荷量、在庫量の動態を調査し、指数化することにより、県内の産業活動の状況を総合的に把握し、景気動向の分析等のための基礎資料とする。

【作成方法】

令和2年（2020年）を基準年として、その鉱工業製品の1か月当たりの平均生産量、出荷量、在庫量を算出し、各品目の基準時ウェイトで加重平均して指数化する。

【各指数の品目数】

- ・生産指数・・・171品目
- ・出荷指数・・・164品目
- ・在庫指数・・・91品目
- ・在庫率指数・・・84品目

《参考事項》

- ・季節調整済指数…1年を周期として季節が要因となり起こる変動(季節変動)を取り除いた指数をいう。
- ・原指数…季節調整をしていない指数をいう。

3. 次回公表予定

令和8年6月末（令和8年4月分）

令和8年3月分

○総合指数前月比の伸び率に影響を与えた主な業種・品目

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目	
生産	上昇	化学工業	3.7	52.9	医薬品製剤	
		業務用機械工業	1.0	148.1	娯楽機器	
	低下	輸送機械工業	▲ 5.4	▲ 16.3	普通乗用車	排気管・消音器
		生産用機械工業	▲ 1.4	▲ 28.8	金型	研削盤
		食料品工業	▲ 1.1	▲ 5.6	清涼飲料	めん類
		電気機械工業	▲ 1.0	▲ 7.3	半導体・IC測定器	自然冷媒ヒートポンプ式給湯機
情報通信機械工業	▲ 0.6	▲ 40.3	ボタン電話装置			
出荷	上昇	業務用機械工業	1.2	87.1	娯楽機器	
		電子部品・デバイス工業	0.2	14.6	セラミックコンデンサ	
	低下	輸送機械工業	▲ 6.5	▲ 15.2	普通乗用車	排気管・消音器
		食料品工業	▲ 1.1	▲ 7.5	清涼飲料	めん類
		電気機械工業	▲ 0.6	▲ 7.5	半導体・IC測定器	自然冷媒ヒートポンプ式給湯機
在庫	上昇	業務用機械工業	0.3	19.6	自動販売機	
		プラスチック製品工業	0.3	3.8	プラスチック製機械器具部品	プラスチック製容器
	低下	化学工業	▲ 2.6	▲ 5.4	医薬品製剤	
		生産用機械工業	▲ 0.9	▲ 11.1	研削盤	
		情報通信機械工業	▲ 0.5	▲ 56.1	ボタン電話装置	

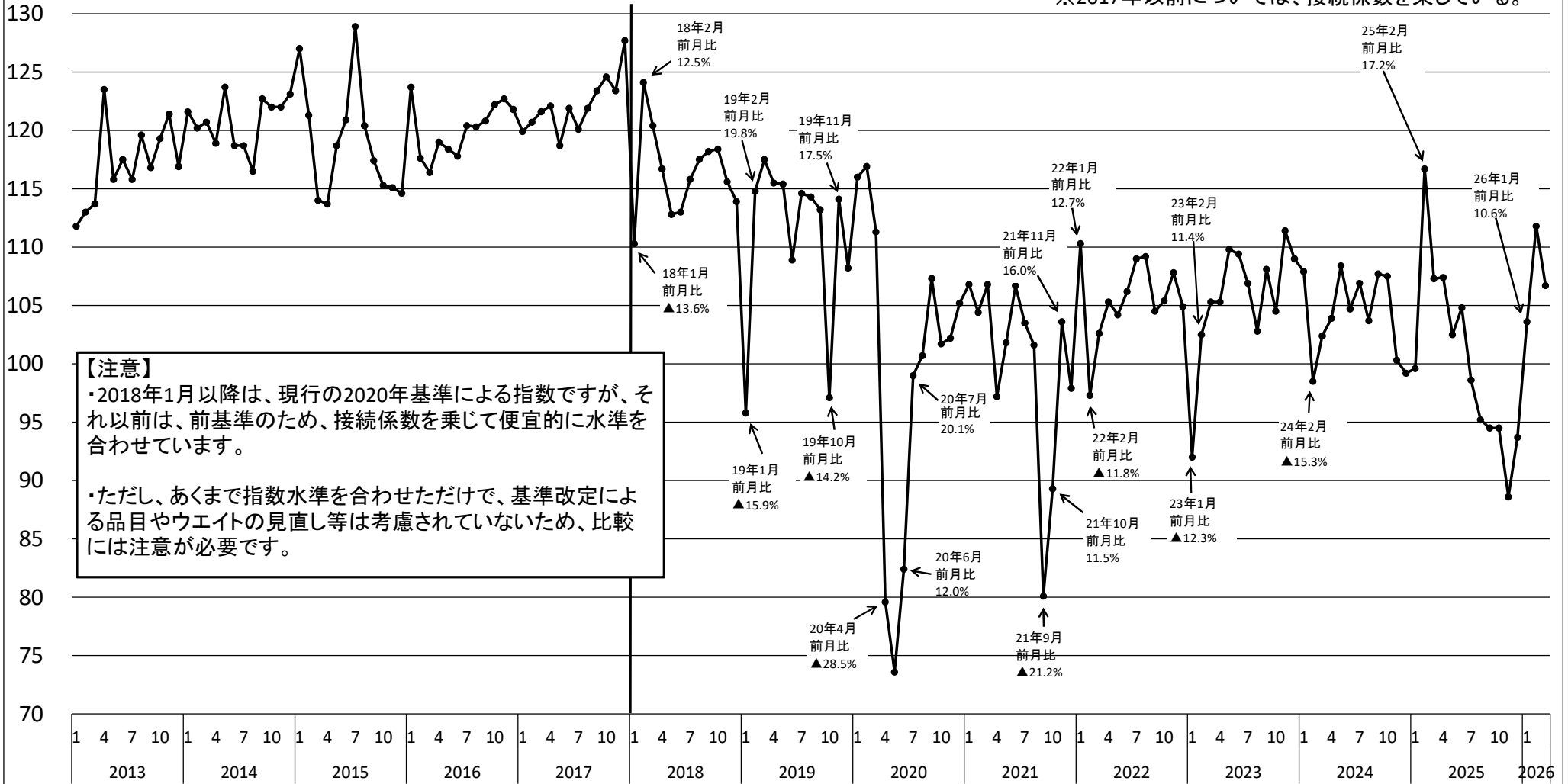
(注) 寄与した主な業種・品目の掲載順序は、上昇、低下とも寄与の大きい順である。一部秘匿あり。

○前月比が最も大きかった業種

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目
生産	上昇	業務用機械工業	1.0	148.1	娯楽機器
	低下	情報通信機械工業	▲ 0.6	▲ 40.3	ボタン電話装置
出荷	上昇	業務用機械工業	1.2	87.1	娯楽機器
	低下	輸送機械工業	▲ 6.5	▲ 15.2	普通乗用車
在庫	上昇	業務用機械工業	0.3	19.6	自動販売機
	低下	情報通信機械工業	▲ 0.5	▲ 56.1	医薬品製剤

出荷指数(季節調整済)

2020年 = 100
 ※2017年以前については、接続係数を乗じている。

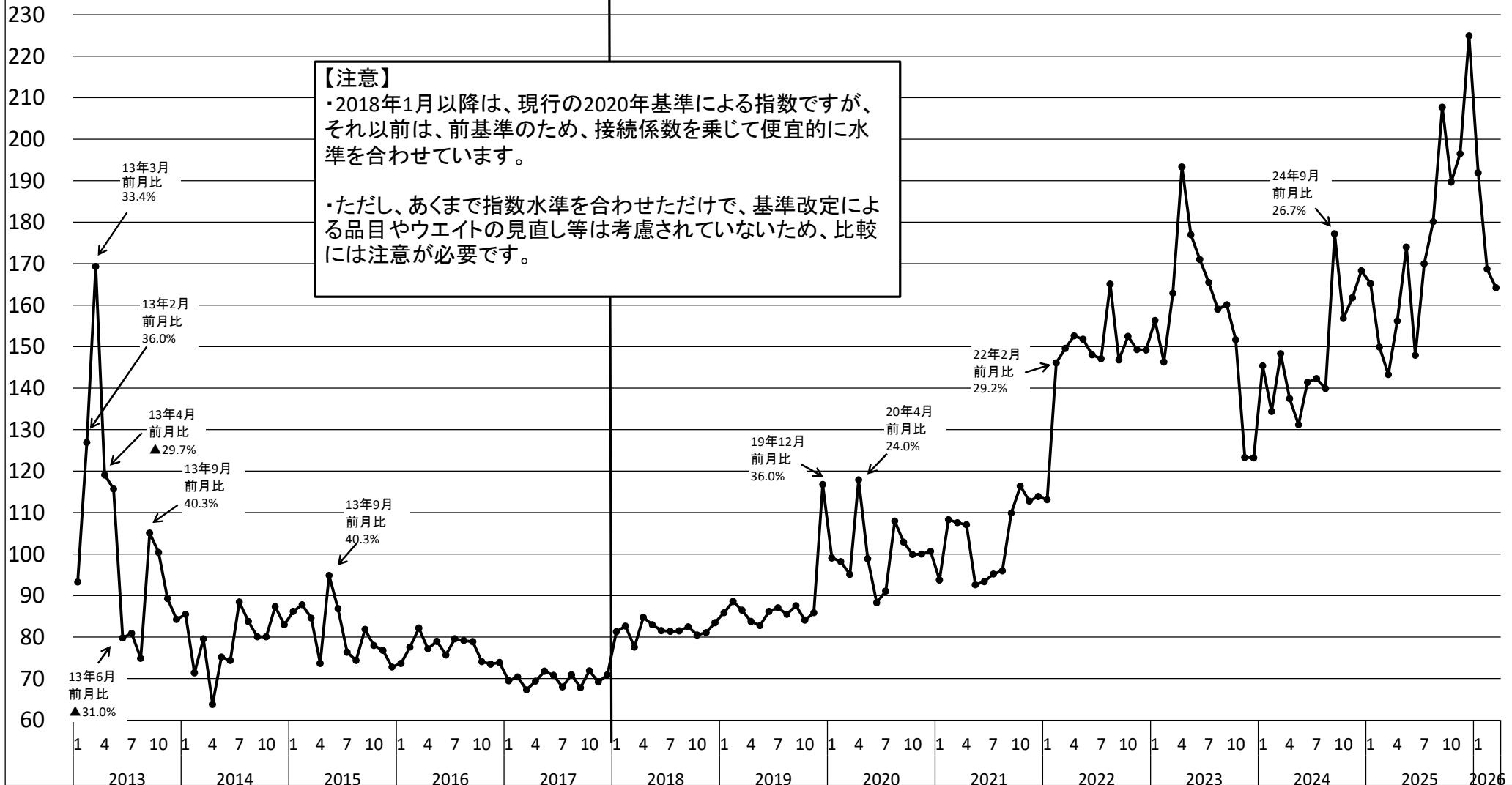


2015年基準: 2013年~2017年 2020年基準: 2018年~2022年 2025年基準: 2023年~2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

在庫指数(季節調整済)

2020年=100

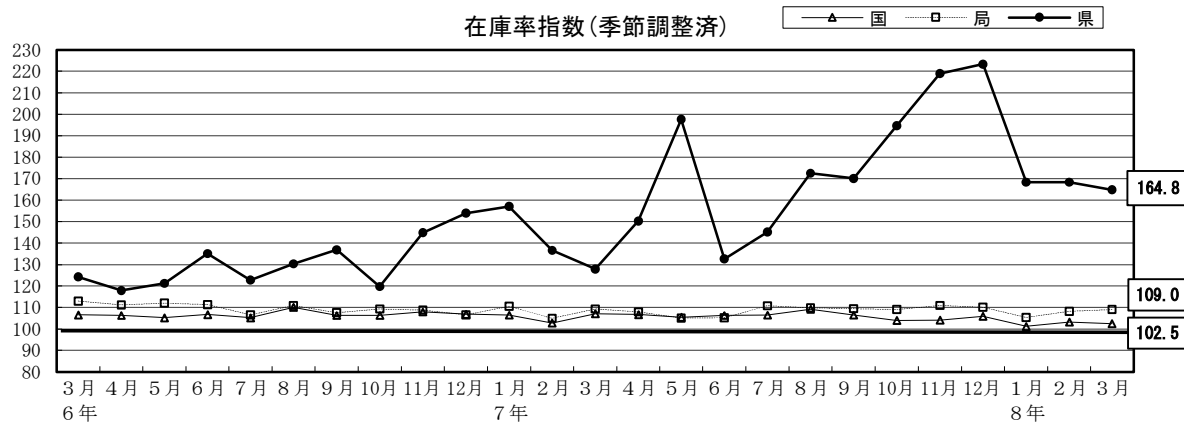
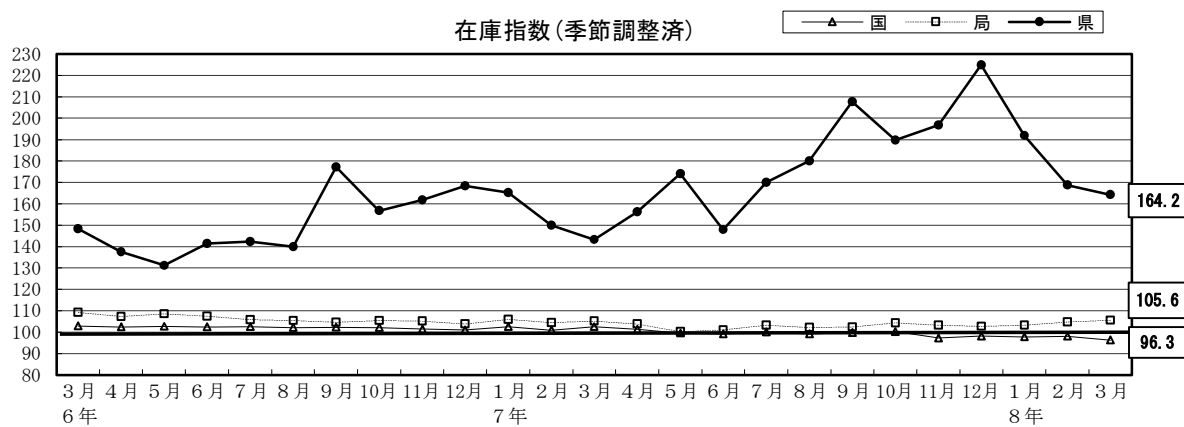
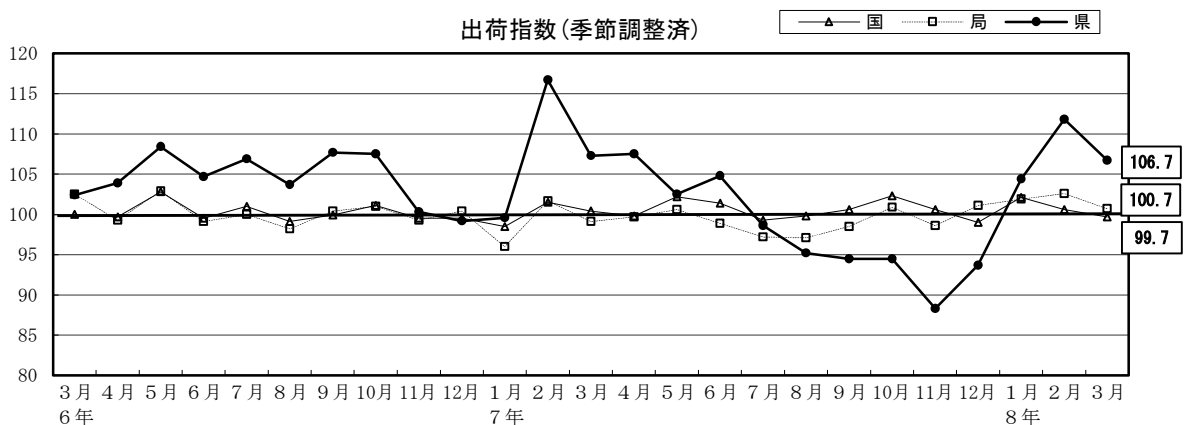
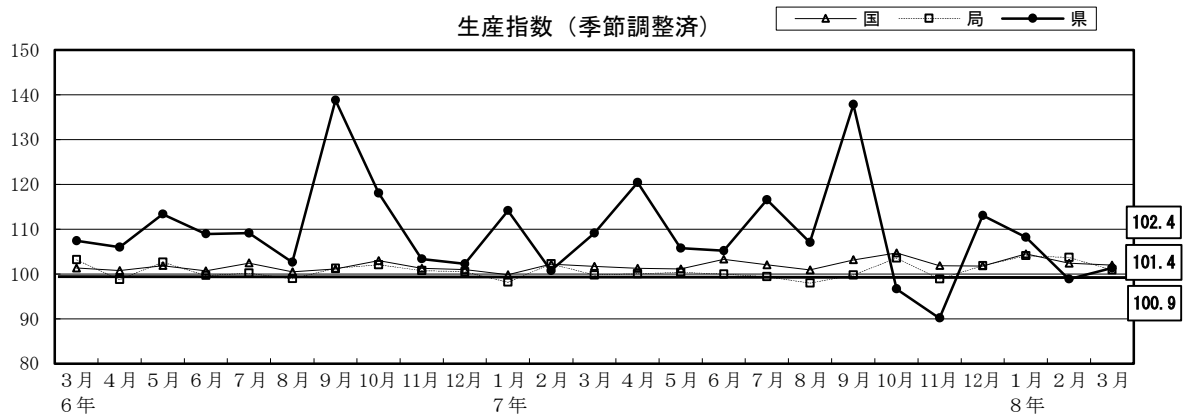


2015年基準: 2013年~2017年 2020年基準: 2018年~2022年 2025年基準: 2023年~2027年(予定)

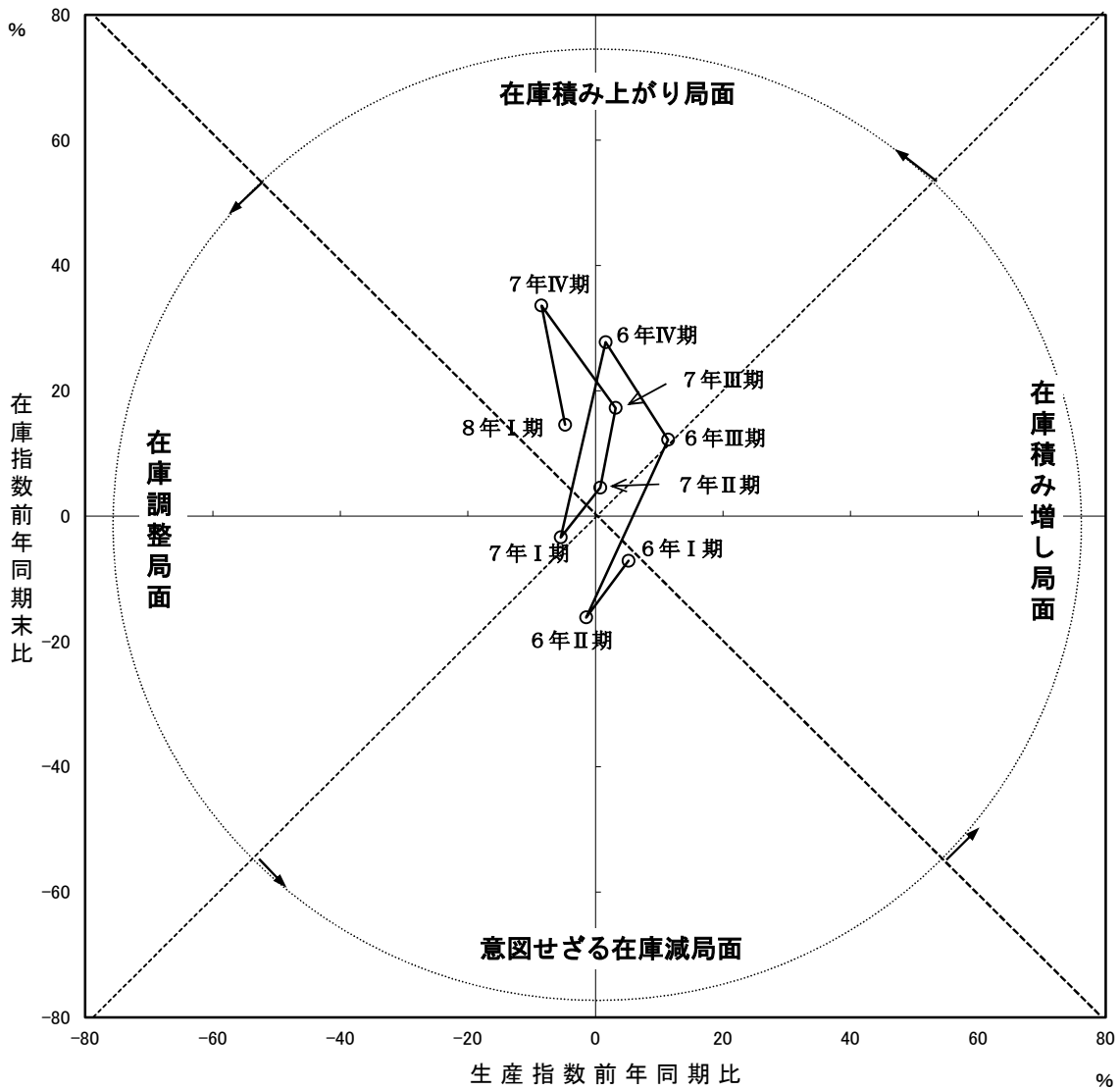
※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

○ 全国・関東経済産業局との比較

2020年=100



○ 在庫循環図



意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)	需要が回復し、出荷が増加し始めるが、生産は停滞しており、在庫は減少する。
在庫積み増し局面 (景気拡大期)	生産、出荷ともに好調に推移し、減少していた在庫も積み増しされる。
在庫積み上がり局面 (景気後退初期)	生産に比べ、出荷が減少し始め、在庫が積み上がる。
在庫調整局面 (景気後退期)	生産を調整することによって、在庫が減少する。